

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 1 日

事業所名 スタジオそら学芸大学

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	5	2	小部屋と大部屋の使用を時間で区切っている/大部屋内で使用場所を決めている	利用定員は法令上は適正人数ではあるが、同時帯の利用人数によっては狭く感じることがあるため、スペースや運動量を確保できるように努める。
	② 職員の配置数は適切であるか	7	0		法令上の配置数は満たしている。引き続き、支援の充実化を図る。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	物を片付ける場所や手洗いの順序等、写真やイラストを掲示している	建物の構造上、完全なバリアフリーは難しい。引き続き、子どもに分かりやすいスタジオ内部の構造化を進める。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	1		待合室が狭いため、利用人数が多い時は別室に移動していただく等、個人情報保護も踏まえて配慮する。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	5	2	都度打ち合わせやケース会議を実施している	目標設定への参画や、振り返りのチェック等の強化が必要
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	7	0	プログラムの作成等	保護者のニーズを把握し、改善に繋げていく
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	2	整備の上、待合室に設置している	ホームページ(ウェブ)掲載は今後行う
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		第三者評価は行っていない
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	研修内容を打ち合わせや支援時に確認し、次回研修での質問に役立っている	研修の機会が増えている。引き続き、支援の充実化を図る。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	ASQ-3の実施	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	ASQ-3の実施	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	社会研修担当者に都度相談を行っている	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	社会研修担当者に都度相談を行っている	引き続き、支援の充実化を図る。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3		小集団プログラムはチームで立案をしている。個別プログラムは個人検討になりがちのため、社内研修担当者に相談の上、チームでの立案を行っていく。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0		引き続き支援の充実化を図る。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7	0		引き続き支援の充実化を図る。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	2	役割分担の前日共有 全員揃うことが難しい場合、前回担当者に個別に確認を行っている	打ち合わせの実施を徹底する。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0		引き続き支援の充実化を図る。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	都度、社内研修担当者に相談を行っている	引き続き支援の充実化を図る。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		引き続き支援の充実化を図る。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0		引き続き支援の充実化を図る。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		挨拶周り程度になっている関係機関もあるため、必要に応じて連携を図る。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	7		通院先が指定されている場合は、通院先及び主治医までは把握している
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	7		通院先が指定されている場合は、通院先及び主治医までは把握している
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5		相談支援事業所 利用児童のみ
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5		相談支援事業所 利用児童のみ
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	連続して同じ者ではなく別の者が参加し、複数者が研修に参加出来るようにした	挨拶周り程度の関係機関もある研修等はスケジュールの都合上、スタッフの一部しか参加できていないため、今後機会に応じ調整の上、積極的に参加をしていく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		保護者のニーズにない。必要に応じて機会の確保を検討する。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	3	4		目黒区ネットワークには参加しているが、放デイ対象
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	フィードバック時に日々の様子など伺うようにしている	引き続き、支援の充実化を図る。積極的な面談の機会を設ける。
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	7		具体的な実施を行っていない。講演会等の企画を検討する。
保護者への説明責任等	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	事業所内で利用者負担について確認を行った	引き続き、支援の充実化を図る。
	㉜	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	ケース会議を随時行い、支援内容と支援計画の作成を行っている。	引き続き、支援の充実化を図る。
	㉝	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	フィードバック時に日々の様子など伺うようにしている	引き続き、支援の充実化を図る。
	㉞	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		固定化利用に向けて保護者会を実施したが、交流を目的とした会はニーズにないため実施していない。必要に応じて機会の確保を検討する。
	㉟	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0		引き続き、支援の充実化を図る。
	㊱	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	事業所内にて小集団プログラム等のちらしを作成している	ウェブサイトにて公開している。
	㊲	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		個人情報の取り扱いへの留意を徹底する。
	㊳	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	視覚化・構造化など、検討し作成している	引き続き、支援の充実化を図る。
	㊴	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		必要に応じて、行事実施の機会を検討する。
	㊵	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	マニュアル読み合わせを実施している	保護者への周知を強化する。
非常	㊶	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	お子様のその日の調子に合わせて実施をしている	保護者への周知を強化する。
	㊷	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		引き続き、支援の充実化を図る。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">子どもの対応</p>	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	4	調理プログラムの場合は事前に保護者に確認している	基本的に食事提供はしていない
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	3	日々、終礼時に報告を上げ報告書の作成を行っている	事例に対する対応策の検討が出来ていないため、対応策の検討を行う。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		全職員の受講ができていないため、早急に研修の機会を設定する。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0		対象児童がいない。 引き続き、支援の充実化を図る。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。